



TITLE:

彙報

AUTHOR(S):

---

CITATION:

彙報. 經濟論叢 1942, 55(1): 123-128

ISSUE DATE:

1942-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/131688>

RIGHT:

會學濟經學大國帝都京

# 經 濟 論 叢

第五十五卷 第一號

昭和十七年七月

## 論 叢

南方農業に於ける勞働力の問題……………經濟學博士 八木芳之助

佛印に於ける貯蓄及資本に就いて……………經濟學博士 松岡孝兒

ナチスの貨銀保護政策の原理……………經濟學士 中川與之助

資本形成の意義……………經濟學士 中谷實

實物的波及過程の彈性分析……………經濟學士 青山秀夫

## 研 究

協力工業の技術的向上と再編成……………經濟學士 田杉競

成果學說の理論的根據……………經濟學士 尾上忠生

## 說 苑

大島貞益の譯書及岡田好樹「經濟之理」について……………經濟學博士 本庄榮治郎

シエーパースの國土計畫論……………經濟學士 上杉正一郎

## 附 錄

彙 報

# 彙報

## 經濟學會

本年度經濟學會大會(第二十四回)は經濟學部創立紀念日に近き五月二十九日(金)午後一時より法經第四教室に於て公開講演會を開催、盛會裡に午後五時閉會した。尙例年行はれ來つた研究報告會並に紀念晚餐會は、時局柄本年は取止めとなつた。講演會の次第及び講演要旨は次の如くである。

開會の辭 本學經濟學部長 八木芳之助氏  
南方産業の後進性に就て

新經濟論理 大阪商科大學教授 淺香末起氏  
本學教授 柴田敬氏

南方諸地域産業政策上の諸問題

拓務次官 植場鐵三氏  
閉會の辭 本學助教授 中谷實氏

### 南方産業の後進性に就て

淺香末起氏

南方産業のうち今日は印度・漆洲・ニュージランドを除いた地域の産業に就いてお話しする。南方地域に於ける産業の特殊性として、先づそれが甚だしく自然の恩恵に依存してゐる點が

舉げられる。熱帯地方に特有の豊富な熱と光は植物の成長を極めて促進すると共に熱帯特産の農産物を豊富に産出せしめ、他地域に於ては見られない南方經濟の特殊性を形造つてゐる。又、一年の氣候が雨期と乾季に截然と別れてをることは植物の種類を豊富にし且つその成長を促進する上に大いに役立つてゐる。従つて南方の農業生産は豊かな自然の恩恵によつて人力・技術を殆んど要しないために、さうした農業のみが行はれ、僅かでも人力とか技術とかを要する栽培は殆んど顧られない状態に在る。

農産物に就いて見ても、石油とか錫とかは別としてその開發は充分に進捗してをらず、單に埋藏されてゐるに留まるといふ程度である。工業も亦その發達が微弱であり、從來、工業と稱されてゐたものにゴム工業・精米・製茶・製糖・タピオカ工業などがあるが、これらはむしろ農林業に含めて考へらるべきであり、普通の意味の工業のうち重工業は勿論、紡績・織布等の輕工業すら極めて未發達の状態である。かうした工業の後進性の原因としては本地域の産業が一般に自然に依存してゐたといふ事以外に植民的支配および華僑の送金のために資本蓄積が阻害されてゐたこと、水力・火力の動力に乏しいこと、人口の地域的偏在のため勞働力を豊富に得ることが困難であつたこと、並びにこれらの地域を支配してゐた母國の工業保護のために工業の發達が故意に抑制されたこと等の原因が數へられる。

然るに今やこれらの地域が大東亞共榮圈のなかに包含される

こととなり、將來わが國の指導の下にこれらの後進性を克服して工業化を行ふ必要が生ずると思はれるのであるが、その場合に於いては以上の四つの阻止の原因を除去するとともに、産業資本の要求に基いて工業化を行ふのではなく、國家的見地のの上に立つて大東亞國土計畫の問題としてこの問題が採り上げられねばならないと考へられる。その際具體的にいかなる産業を興すべきかは政策の擔當者によつて指示さるべき事柄であり、こゝではそのための基礎的な事情を明かにした次第である。

### 新經濟論理 柴田 敬氏

本講の目的は「共同的全體」主義的經濟原理が資本主義的經濟原理に比し、より高き生産性を有するといふ事の靜態論的論議の骨子を明かにせんとするに在る。

資本主義的經濟原理は、生産要素の各種用途への配分従つて生産方法の選擇を限界生産力説を妥當ならしむる如き仕方で行ふのであるから、生産要素に最大の生産力を發揮せしめ得るのである。即ち例を資本の配分事情にとれば、一定の勞賃を前提して一方歸屬理論に基く資本の限界生産力函数が導かれ、他方資本利潤率と資本需要量との間の關係(資本需要原基函数)が得られるのであるが、此の兩函数の交點こそ當該勞賃の下に於て資本に最高の利潤率を與へる點である。従つて資本利殖的立場に立つ資本需要函数はかゝる點を綴り合はす事によつて得られるものであり、従つて此の函数のどの點をとつても資本の限界

生産力と一致する。故にかゝる資本需要曲線と資本供給曲線（これはそのいづれの點に於ても各資本家の主觀に於ける生産供用的現在財の限界效用と非生産供用的現在財のそれとを一致せしむる）との交點に、資本の利潤率と需給量が決まるといふ事は、資本の各用途への配分、従つて生産方法の撰擇が極大満足の條件を満足せしむる如く行はれる事を意味する。

ところで一定の勞賃の下に於て年産物を増加する爲には資本量を増加して技術構成の高度化を計らねばならないが、資本の供給はその利潤率に依存し、利潤率は資本需要原基函數によつて示される如く資本の函數である。従つて資本の需給量は資本供給函數と資本需給原基函數の交點に迄は及び得る。この交點に照應する年産物量は凸形の曲線を畫くのであるが、資本主義論理によつて撰び出されるのはこの曲線の頂點ではないのである。蓋し資本主義論理に於ける生産方法撰擇の原理は、資本利潤率であり全體的年産物ではないのであるから。しかるに「共同的全體」主義の經濟原理はまさに國民經濟全體の生産性を生産方法撰擇の規準とするのであるから、その頂點の生産力が實現されるのである。前述の如く資本主義的經濟論理はその限界生産力説的構造によつて一應極大満足の條件を満足せしむるが如く見えるのであるが、その本質に根ざす原子論的斜視性によつて、それは決して眞の意味に於ける極大満足ではあり得ないのであつて、新經濟論理は此の點に於て資本主義的經濟原理を超越し得るのである。

## 南方諸地域産業政策上の諸問題

植 場 鐵 三氏

東亞共榮國は大東亞戰爭の發展と共に擴大し現在に於てはその具體的建設段階に入り、従前の不足物資の獲得も容易となり産業政策上に於ても新なる意義を有するに至つた。即ち戰爭を遂行し乍ら戰爭を培養すべき點にその特異性が存する。

産業政策上の基本方針は、他の政治、文化諸政策と併行して（イ）戰爭遂行力を確保する經濟力の確立、（ロ）各民族の維持發展、により世界經濟に於ける東亞の自主獨立權の確保を目的とする。而して當面の政策は、自給圈を確立し、高度國防國家體制を完成して、諸民族の生活の維持安定を計るに在る。其の爲には、人、物及び資金の徹底的綜合的動員が必要であり、生産力擴充を中心として産業の再編成、低物價の維持、食糧及び勞働力の確保、賃金統制、輸送力の充實等の諸政策が行はれねばならない。

我國の具體的な對南方根本對策は、大東亞建設審議會に於て計畫中にして、その暫定處置の要項は次の如くである。

- （一）、重要物資の需要を充足し戰爭資源を確保して自給圈を確立する。
- （二）、南方地域を舊蘭印、馬來等の如く敵性を排除して軍政を行ふ地域と、佛印、泰の如く我國に協力してゐる地域とに二分する。占領地に於ては資源確保特に軍需物資を第一義とする。尙ほ不足資源たる衣料物資特に棉花が重要であり、本年より實

施せんとする増産計畫によれば、南方諸地域に於て五年間に三

九〇萬ピクルの確保を計り、擔當者も指定し物動計畫に組入れる計畫である。

(三)、ゴム、錫等の重要過剩物資の敵性國家への流出を阻止する爲、生産制限、新利用法の發見等を行ふべきであるが、國家が最後の負擔を負ふ覺悟が必要である。

(四)、作戰軍の現地自活を確保する。而して物資の開發には在來企業家の協力を誘導して之に擔當せしめ國家的に活動せしめる。

尙ほ幾多の重要問題があるが、その主要なるものは、(一)、人口及民族對策。東亞諸民族をして各その所をえせしめ共榮圈に参加せしめる。指導者たる大和民族の適當なる配置、増加が必要であるが、原則としては日滿支を培養基地とし特殊の地域に移住するに止める。

(二)、華僑對策としては、地域、業種を制限し協力する者のみを利用すべきである。

(三)、通貨の問題。今後は日本圓との比率を適正にし對外的にも圓を通じて行ふべきである。

(四)、造船の増加、配船の適正が南方開發に重要な影響を與へる故、計畫造船、海運統制令の改革等諸種の政策を行つてゐる。

要之、我々は此等諸政策の適切迅速なる遂行により經濟戦をも克服して東亞共榮圈の確立に邁進せねばならぬ。